

Disaster Mitigation by realtime analysis of TSUNAMI using federated supercomputers



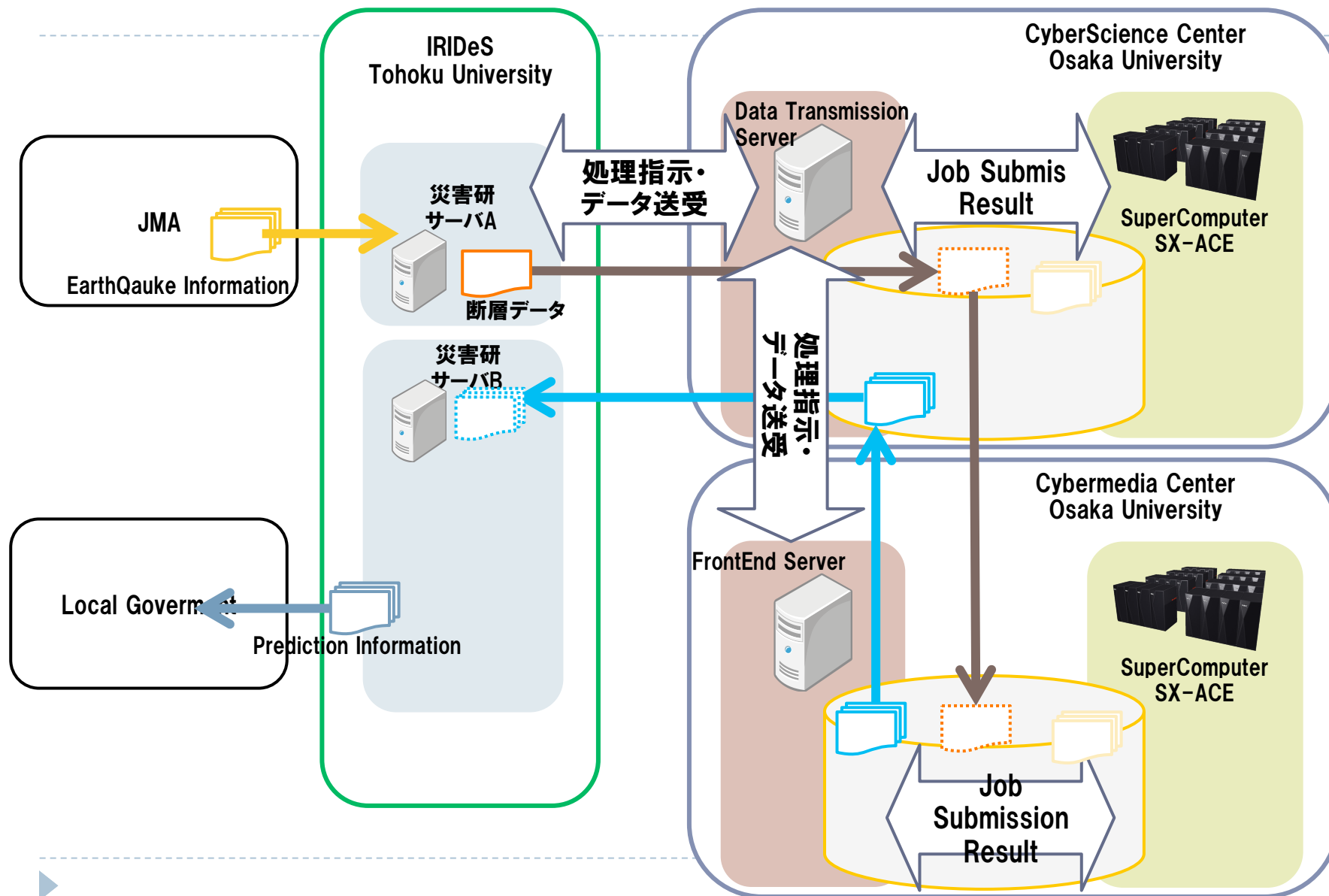
Shinji Shimojo, Susumu Date, Yoshiyuki Kido, Masaharu Shimizu, Engr. Morsalin Uz Zoha (Osaka University)
Hiroaki Kobayashi, Shunichi Koshimura, Ryusuke Egawa, Ryota Hino, Kenji Oizumi, Yusaku Ohta (Tohoku University), Akihiko Musa (Tohoku Univdrstity/NEC), Yoichi Murashima (KOKUSAI KOGYO CO. LTD)



KOKUSAI KOGYO CO., LTD.



System Configuration



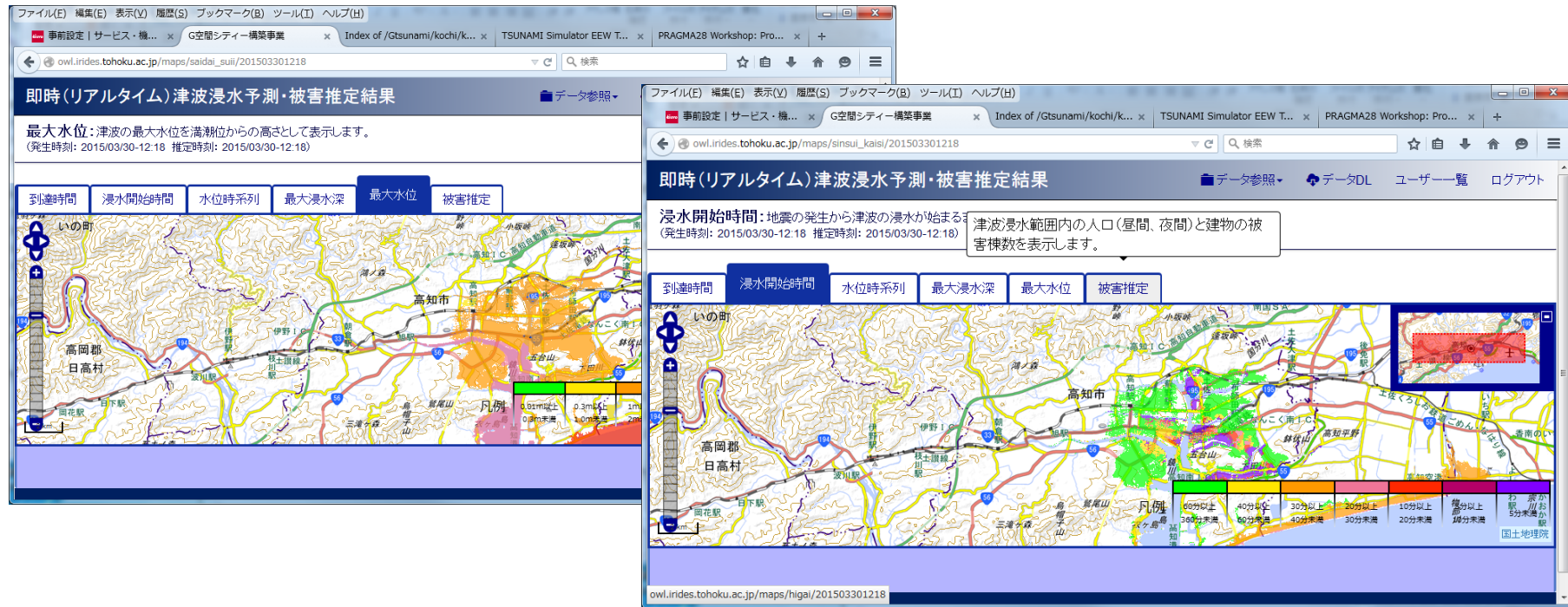
デモ動作概要と処理確認方法（１）

	動作概要	所要	状況確認方法
①	デモ用システム起動HPへアクセス & デモ用地震発生起動	0	デモ用(システム起動)HP
②	震源特定 & 断層データの作成	8分	デモ用HP メール通知(限定)※1
③	断層データの取得		メール通知(限定)※1
④	シミュレーション起動	数秒	—
④-1	東北大CC データ転送サーバ で取得	数秒	↓
④-2	東北大CCから阪大CMCフロ ントサーバに起動指示	数秒	メール通知
④-3	阪大CMC フロントサーバで取 得 & 起動	数秒	メール通知
⑤	SX計算開始	8分	メール通知

※1：一部メール通報は、当初の総務省PJ関係者にのみ送付となる。
(設定変更には関係他社での調整が必要)



Prediction Result



- ▶ 予測の各情報が表示
- ▶ 土地の特性により状況に違いが見られる(内陸部なのに浸水が早い)